

自己評価結果等届出書

令和 7 年 2 月 28 日

鹿児島市長 殿

1. 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	株式会社 サクラバイオ					
事業所の名称 (施設名)	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッドジョブリズム					
事業所番号	4650102348					
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市鴨池1丁目12-14 五反田ビル1階					

2 公表状況

公表日	令和 7 年 2 月 22 日	
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択)	ホームページ ↓ 2 に URL を記載
	2. 内容	http://goodjob.group
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。	

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	内 紅季
連絡先 (TEL)	099-210-5677

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム [児発フ]		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		~ 2025年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		~ 2025年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職が在籍していること	・契約時に保護者からの聴取評価ツールを使用しアセスメントを実施。ご利用開始日にはスタッフの共通理解・共通対応ができています ・ミーティングの時間を設けることでスタッフ全員で同じ方向性で支援をすることができています	・現在PT、OTが在籍しているため他の専門職を増員する ・感覚の評価ツールを導入しているが、学習面における評価ツールなども導入し、学習支援も充実させる
2	・集団療育の中でも子どもさんそれぞれにあった個別のアプローチができています	・平日は集団療育、土曜日は個別療育を実施 ・集団活動が難しい子どもさんは個別療育を併用し集団活動への促しができるようにしている ・集団の中でも、子どもさんのレベルに合わせた支援ができています	・感覚の評価ツールを導入しているが、学習面における評価ツールなども導入し、学習支援も充実させる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない	・3月1日に保護者向けの講習会を実施	・今後も継続して実施していく
2	保護者間の関わる機会が少ない	・開所1年未満だったこともあり実施計画を立てるのが遅れたため	・保護者会や事業所参観日などを定期的実施 ・3月22日に保護者会を実施
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 音楽特化型 児童発達支援・放課後等でサービス
グジヨブリズム

公表日 2025年 2月26日

利用児童年 月 日
数 5

回収数 5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				声のかけ方が前向きで療育的。自己肯定感を育む伝え方を心がけていらっしゃるように感じます。	今後も子どもさんひとりひとりに合わせての伝え方で自己肯定感を育む支援をしていきたいと思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4			1	まだ利用回数が少ないためわかりません。	今後、回数を重ねていくことでご理解をいただきたいと思います。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1		2	2		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1				
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1		2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4			1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1		4		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				グッジョブの働きのおかげで楽しみが増えたり、できることや理解も増したりしていると感じています。先生方の笑顔や元気が子供たちの笑顔に繋がると思うので無理されないようにお仕事していただきたいと思えます。	私たちの心身も大切にしながら今後ますます子どもさんが安心して楽しく通える場所を提供します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッドジョブリズム 【児童発達支援】		公表日		2025 年 2月 26 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		構造化(床のライン)上に活動でき、道具(ボールやマット)の数も多く準備されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		送迎時に人手が足りなくなる時もあるが事前に計画を立て安全に回れるように工夫している。	送迎時に人手が足りなくなる時もあるが事前に計画を立て安全に回れるように工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スペースが色別化しているため視覚的に分かりやすい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔さを保てるよう、隙間時間に清掃をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室が2つあり、必要に応じて空き部屋で個別療育をすることがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		振り返りやミーティング時に、意見共有をすることができている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回法人の研修会がある。その他には職員がそれぞれ興味のある分野の研修会に参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚プロファイルを用いてアセスメントを実施している。	今後太田ステージの導入を検討している。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		特性を理解し、個別対応できる部分には個別対応をできる環境設定と声掛けを心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれ担当しているものだけではなく、全体の内容を見て、気づいたことを共有して活かす環境である。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの中身に少しずつ変化を加えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		振り返りの時間や利用者について気づきをその日や翌日にするように時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		その日に難しければ、翌日が週末の時間を使い振り返りをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者さんが使用したプリントなどを保管し、随時、見返しできるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		管理者が中心となりモニタリング実施。その後共有している、活動へ活かせるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		外部機関から見学したいとの問い合わせがある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答)					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		送迎時や保護者から見学の依頼がきたときなどに話をしている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		自分自身がまだまだ知識がなく、学んでいきます。周りのスタッフへもご対応いただきながら対応していきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて面談を実施し助言等をおこなっている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			保護者会を開催予定である
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		インスタグラムを週2回以上更新するようにしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			

応

50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム [キズデイズ]		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		～ 2025年2月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月15 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職が在籍していること	・契約時に保護者からの聴取評価ツールを使用しアセスメントを実施。ご利用開始日にはスタッフの共通理解・共通対応ができています ・ミーティングの時間を設けることでスタッフ全員で同じ方向性で支援をすることができています	・現在PT、OTが在籍しているため他の専門職を増員する ・感覚の評価ツールを導入しているが、学習面における評価ツールなども導入し、学習支援も充実させる
2	・集団療育の中でも こどもさんそれぞれにあった個別のアプローチができています	・平日は集団療育、土曜日は個別療育を実施 ・集団活動が難しいこどもさんは個別療育を併用し集団活動への促しができるようにしている ・集団の中でも、こどもさんのレベルに合わせた支援ができています	・感覚の評価ツールを導入しているが、学習面における評価ツールなども導入し、学習支援も充実させる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない	・3月1日に保護者向けの講習会を実施	・今後も継続して実施していく
2	保護者間の関わる機会が少ない	・開所1年未満だったこともあり実施計画を立てるのが遅れたため	・保護者会や事業所参観日などを定期的にも実施 ・3月22日に保護者会を実施
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッジョブリズム
------	-------------------------------------

公表日 2025年2月26日

利用児童 年月日
数 20

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13		1		とても良くヒアリングして頂いた と思います。何かあれば都度情報 共有していただき助かっていま す。	今後ともご家庭との連携を図り共 通理解の上で支援させていただき たいと思います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	3	1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	3	3		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	3	2	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	3		1		

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13		1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	3	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				働いているため、LINEでの問い合わせは大変助かります。	できるだけ保護者様のご負担にならない方法での体制づくりをしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12			2	インスタ見ました。楽しそうでした。	頻回に更新し、リズムでの様子をみていただけたらと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2		8		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	2	1	4	おかげさまでまだ機会がないです	構造化された環境のため事故や怪我がほとんどありません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	1		他の施設では経験できないイベントが多く、子供も楽しみにしています。	通所されているこどもさんの希望も取り入れながら楽しめる企画をつくっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		音楽特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッドジョブリズム 【放課後等デイサービス】		公表日		2025年2月26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		構造化(床のライン)上に活動でき、道具(ボールやマット)の数も多く準備されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		送迎時に人手が足りなくなる時もあるが事前に計画を立て安全に回れるように工夫している。	送迎時に人手が足りなくなる時もあるが事前に計画を立て安全に回れるように工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スペースが色別化しているため視覚的に分かりやすい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔さを保てるよう、隙間時間に清掃をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室が2つあり、必要に応じて空き部屋で個別療育をすることがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		振り返りやミーティング時に、意見共有をすることができている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回法人の研修会がある。その他には職員がそれぞれ興味のある分野の研修会に参加している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚プロフィールを用いてアセスメントを実施している。	今後太田ステージの導入を検討している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		特性を理解し、個別対応できる部分には個別対応をできる環境設定と声掛けを心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		それぞれ担当しているものだけではなく、全体の内容を見て、気づいたことを共有して活かす環境である。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの中身に少しずつ変化を加えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		振り返りの時間や利用者について気づきをその日や翌日にするように時間を設けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		その日に難しければ、翌日か週末の時間を使い振り返りをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者さんが使用したプリントなどを保管し、随時、見返しできるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		管理者が中心となりモニタリング実施。その後共有している、活動へ活かせるようにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動中でも、伝えるタイミングを促し、継続して身に付くようにアプローチしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者が行ってくださいますが、その前に、スタッフ間でその子に対するリズムでの様子を確認して共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		外部機関から、見学したいです！などお電話をいただく機会もあり、管理者に相談して、連携し、活動を伝えたり、園・学校等での様子を聞くようお話をするように心がけています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎に携わる際に、お会いした時にお話をしたりします。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		管理者から情報共有をいただきます。その後、意識して活動の様子を観察し、スタッフ間で意見交換する機会もあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後、保護者かいなどできれば話し合いには出てきましたが、実施できる環境設定が困難であることで、今後できればと考えているところです。また、見学したいお問い合わせもあり、受け入れてみていただくこともあります。ブラックミラーがありがたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		自分自身がまだまだ知識がなく、学んでいきます。周りのスタッフへもご対応いただきながら対応しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			